

丹波市

地域おこし

協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

環境保全や自然教育に取り組む

尾形 真依子さん vol.50

経歴：兵庫県三田市出身。東京で営業職を経験後、子育てを機に自然に魅せられて丹波市へ移住。

任期：令和3年10月～



丹波市は何気なく近所を散歩するだけで、身近に自然を感じる事ができ、かつて私が東京で過ごしていた時には出会わなかった豊かな自然風景の連続にいつも感動しています。

今年の4月から始動した「しぜんたいけんプログラム」では、川遊びや虫取り、道端の野草や公園の落ち葉などを「見たり、さわったり、食べたり」して五感を使いながら丹波市の自然を身近に触れる体験を実施しています。現在は、地域の皆さまの支えもあり、0才から未就学児、その保護者などたくさんの方々に参加いただき、「身近に自然はあるけど、こんな遊び方があることを知らなかった」といった声をお聞きするなど、皆さんにとっても新しい発見があることをうれしく感じます。発見は自然についてだけではありません。子どもたちは夢中になっ

て虫や草花を採取したり「こんなことができたよ」と私や保護者、先生に誇らしげに教えてくれます。こうした普段あまり見せない姿を見ることがするのも新しい発見です。

今後は丹波市の自然が「楽しい」「大切にしたい」と思う土台作りなどにも挑戦したいです。“おがちゃん自然ナビ”では、今回紹介した「しぜんたいけん」のほか、自然遊び情報などについても随時配信しています。興味を持っていただいた方はぜひ登録してください。



「しぜんたいけん」で子どもと一緒に虫を観察する尾形さん



おがちゃん自然ナビ

市長・林時彦の 時を駆ける

「成人式」から「二十歳のつどい」に



民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられました。この改正により、約140年ぶりに成年の定義が見直されたことになりました。これまで、丹波市では、毎年成人の日の前日に20歳になった方を対象として「丹波市成人式」を開催してきましたが、この度の成年年齢の変更により、成人式をどのように祝うべきか検討しました。結論としては、新成人となる年に市からお祝いの品を贈って祝福し、20歳になった年に、従来の成人式を「二十歳のつどい」と名称を改めて開催することとしました。これは、受験や就職試験など何かと忙しい18歳で開催するよりも、社会人や学生になって、比較的環境が落ち着いてから開催した方が参加してもらいやすいと考えたからです。今年度も既に「二十歳のつどい」実行委員会が組織され、委員会メンバーは思い出

に残る楽しいつどいにするべく趣向を凝らしています。参加される皆さんには大いに楽しんでほしいと思います。

私は「二十歳のつどい」に参加される皆さんに、家族や友達、職場の同僚など、たくさんの方々と協力、協働し、人とのつながりを大切にして欲しいということ、そして、いつでも安心して帰ってこることができる場所、帰っておいでと言える場所として、ふるさと丹波市を大事に思っていて欲しいというのを伝えたいと思っています。新たな門出を迎える皆さんが多くの人と出会い、絆を強め、豊かな人生を歩まれることを願っています。



再会を喜び記念撮影をする新成人（令和4年）

丹波市長 林 時彦

特集①：足立きん集まれ祭り
特集②：市政フラッシュ
市長コラムほか
民生委員
情報ひろば
子育て関連情報
情報ひろば
相談・コラム
健康生活
まちとび
はぴたん
掲示板・戸籍